

# 小学校 総合的な学習の時間の単元計画（例）【第5学年：70時間】



探究課題（例）：米の生産や米菓作りに携わる人々の取組や願い、努力や創意工夫

**単元の目標：** 米作りや米を使った調理を行ったり、米の価値等を発信したりする活動を通して、米作りに携わる人々の苦労や工夫、喜びを実感するとともに、米文化の在り方や多様性について考え、米と自分たちの関係を結び付けながら、生活を見直していこうとするようにする。

**単元名：** ごはんもりもりプロジェクト ～ 発見！お米の可能性 ～ お米のよいところを発見・発信しよう

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
小単元1（25時間）					小単元2（30時間）					小単元3（15時間）						
<b>【課題の設定】</b> ・社会科の「食糧生産を支える人々」と関連させ、GTとともに田植えなどを体験する。 ○「おいしいお米がたくさん収穫できるようにしよう」「収穫したお米を使って活動しよう」  <b>【情報の収集】</b> ・米作りについて知っていること、疑問に思っていることを共有し、必要な情報を収集する。 ・GTにお話を聞く。 ・稲の成長の様子を継続的に観察する。 <b>★稲の成長の様子は、タブレット端末等に時系列で保存する。</b>  <b>【整理・分析】</b> ・米作りについて調べたことを分類・整理する。 ・米作りに関わる人々の思いや願いを整理する。 ・日頃の食生活を振り返り、給食のごはんの残りを減らすための取り組みを考える。（ごはんもりもりプロジェクト①）（以下PJ）  <b>【まとめ・表現】</b> ・米作りについて整理したことを新聞等にまとめる。 ・ごはんもりもりPJ①の取組の様子を振り返ってまとめる。  <b>【振り返り】</b> ・米作りを体験したり、米作りに携わる人々の思いや願いを聞いたりして、食料生産の苦労や工夫、お米をもっと食べてほしいという思いが分かった。自分たちのお米も大切に育てたい。たくさん収穫できたら、そのお米を使って調理したり、ごはんに合うおかずなどを考え、もっとおいしく食べられるような取組をしたい。					地域の人々等の思いをふまえて課題を設定する。  解決方法や手順を考え、見通しを持って追究する。  目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。  視点を明確にして問題状況における事実や関係と、整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりする。  米作りに携わる人々の工夫や努力が分かる。  目的や意図に応じ、工夫してまとめ、表現している。  学習の仕方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。  学習を振り返る中で、次の活動の見通しや課題意識を持つ。					<b>【お米の収穫】</b> ・稲刈り、脱穀、精米をする。  <b>【課題の設定】</b> ・「ごはんもりもりPJ②」を進めるための取組は何がよいか。 ・米菓作り ・ごはんに合うおかずづくり（ごはんの友） ・PR新聞づくり 等  <b>【情報の収集】</b> ・米からどのような食品ができていますのか調べる。 ・米菓の作り方を調べる。 ・全国各地の「ごはんの友」を調べる。 ・ごはんの友に加工できそうな、地域の農作物等を探す。 ・ごはんのよさを調べる。 <b>★収集した情報はデジタル化し、内容ごとにフォルダを作成して蓄積しておく。</b>  <b>【整理・分析】</b> ・「米が主役になる」「みんなで食べられる」「日本文化が感じられる」という視点に沿って、作りたいものを決める。  <b>【まとめ・表現】</b> ・1回目の調理、試食をする。 ・試食の結果を視点に沿って分類する。 ・専門店の作り方を調べておく。  <b>【整理・分析】</b> ・P&Sシートを使って、改善策を考える。 ・専門店の作り方も参考にする。  <b>【振り返り】</b> ・みんなにごはんをもっとたくさん食べてもらうために、自分たちの米菓やごはんの友を作ることができた。ごはんのよいところなども、多くの人たちに紹介していきたい。					解決方法や手順を考え、見通しを持って追究する。  視点を定めて情報を比較・分類・関連付けて考える。  他者と協働して探究活動に取り組み、その大切さに気付く。  目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。  相手や目的、意図に応じて論理的に表現する。  学習の仕方をふり振り返り、地域と自分との関わりを考えながら、学習や生活に生かそうとしている。	
<b>【課題の設定】</b> ・●●文化祭でお米のことを伝える内容や方法はどのようにすればよいか。  <b>【整理分析】</b> ・発表する内容を考える。 ・1年間の米作りについての情報をまとめる。GTの思いや願いを入れる。 ・米菓作り、ごはんの友作りなど、活動内容をまとめる。  <b>【情報の収集】</b> ・発表する内容を深めるための情報を再度収集する。  <b>【整理・分析】</b> ・効果的に伝えるための方法を考える。  <準備> <b>【まとめ・表現】</b> ・1年間の活動内容や、考えたりしたこと、みんなにも「ごはんもりもりプロジェクト」を進めてほしいということ等について、相手意識や目的意識を明確にしてまとめる。 <b>★蓄積したデジタルデータを活用して表現する。</b>  <b>【振り返り】</b> ・自分たちが活動したことを紹介したり、米菓やごはんの友などを実際に食べてもらうことができてよかった。みんなにもごはんのよさやおいしく食べる工夫が広がったかな。					解決方法や手順を考え、見通しを持って追究する。  目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。  課題の解決に向けて、進んで取り組もうとする。  視点を明確にして問題状況における事実や関係と、整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりする。  目的や意図に応じ、工夫してまとめ、表現している。  問題状況における事実や関係を比較したり関連付けたりして考える。  学習を振り返り中で、次の活動の見通しや課題意識を持つ。											